

テーマ：区長業務取扱要領(案)について

- 1 開催日時 平成27年2月6日(金)午後3時25分から午後5時10分まで
- 2 開催場所 議事堂第1～3委員会室
- 3 開催方法 ワークショップ形式による意見交換

良いところ

区長業務の明確化

- ・区長の業務を整理し、見直すことは良いこと。
- ・区長と自治会長の職務が明確となる。
- ・市が区長に求めていることが分かった。
- ・防災や環境などは別の長がいるので、職務の分担がはっきりする。
- ・スリム化は評価できる。
- ・調査や取りまとめがなくなるのは良い。
- ・今まであまりに区長の役割が広すぎたので、業務が少なくなるのは良い。

すっきりスリム化

世帯数や報酬も問題となる

今まで区長が担ってきた業務はどうなるのか？

- ・行政区によって世帯数が違い過ぎる。
- ・区長報酬の適正化が問題になる。
- ・一方的な線引きであり、調整しなければならないことが多い。
- ・地区にもよるが、自動的になる当て職が多すぎる。これを解決しないと業務量は減らない。

“区長”のとらえ方に差がある

地域を代表するのは誰か？

見解の相違

- ・区長が地域のまとめ役として機能しなくて良いのか疑問。
- ・区長は地域の代表である。自治会長のいない地域は混乱する。
- ・区長＝自治会長であり、行政区のトップ。区長が地域づくりのトップであるという実態に合わせるべき。区長業務は今までと同じで良い。

- ・地域づくりは自治会長等がリーダーとなるべきで、そのためにも区長業務の仕分けは必要。

- ・区長から地域のまとめ役の業務が離れるのであれば、業務と「区長」という名称に齟齬をきたすのではないか。
- ・区長ではなく行政連絡員としてはどうか。
- ・区長という名称では「区をまとめるトップ」と受け止められてしまう。

説明や準備の期間が必要

疑問・課題

区長だけでなく、地域の住民に分かってもらわないといけない！

住民の理解が必要

- ・住民の納得が得られるかについて疑問がある。
- ・地域の中で反対する人がいると、その説得は誰が行うのか。
- ・区長と自治会長の違いや区長の役割を理解してもらうためには時間がかかる。
- ・区長の業務を明確にしたことを市民に周知徹底を図る必要がある。
- ・新しい要領を適用するまでに市民へ周知する期間を十分に設けてほしい。
- ・区長業務を見直したことを説明する際には、自治基本条例と地域づくり組織条例が作られた意義や、その内容を一緒に説明し、理解を深めてもらう必要がある。

時間が必要

- ・平成27年度からは課題が多くて無理がある。
- ・現在区長や自治会長が担っている役割は、行政区ごとに違うので、一度に実行できるか疑問。
- ・区長が様々な役割を兼務している場合、業務が多岐にわたるので、それを分けるのに時間を要する。

疑問・課題

16地区の地域づくり組織との関係

- ・区長と地域づくり組織との連携に心配がある。スムーズに分担可能かどうか。
- ・区長と地域づくり組織との役割分担がよく分からない。
- ・区長業務から外れたものの中には、地域づくり組織ではできないものがあるのではないか。

自治会との関係

- ・行政区に2つの自治会があり、区長が代表者でなければ誰が代表者か。区長と自治会長が兼務となっているところはいいが、そうでない場合はまとめ役がいなくなり大変と思われる。
- ・自治会長は1年の任期で、役割は連絡のみなので、区長がしてきた業務は任せられない。
- ・自治会長の負担が重くなり、引き受ける人がいなくなる。
- ・町内会長の人材確保が大変な作業となる。

役割分担に不安
自治会の負担が重くなってしまう

具体的な各項目についての意見等

- 文書配布**
 - ・広報等の配布は自治会へ委託したらいいのではないか。
 - ・地区内から依頼される配布物が多くなる傾向にある。
- 各種調査**
 - ・各種調査等の取りまとめを見直すことは賛成。
- 環境衛生**
 - ・指導及び協力という文言を削除したのは良い。
- 道路河川**
 - ・草刈や街路灯電気料金の支払いは地域づくり組織で引き受けてくれるのか。
- 要望連絡**
 - ・要望を地域づくり組織だけでまとめられるのか疑問。
 - ・住民からの要望の取りまとめは継続した方が良い。
 - ・住民からの要望や苦情等が行政に届きづらくなるのではないか。
 - ・例えば街路灯設置についての要望など、こういった要望が区長で、こういった要望が地域づくり組織なのか分からない。
- 団体との協力**
 - ・各種募金は区長協議会ではなく、それぞれの団体で行うべきではないか。
 - ・協力事業の範囲がどうなるのか分からない。
 - ・協調から協力に変更したのは良い。
- 防災**
 - ・自主防災組織の会長は区長の当て職で、別に会長を選ぶと大変。
 - ・自主防災組織のリーダーは区長であり、今まで通りが良い。
- その他**
 - ・各種委員の推薦は、地域を代表する自治会長等に任せる方が良い。
 - ・区境の変更も地域づくり組織で担ったらいいのではないか。
 - ・「市側では把握できないような地区の事情」とはどのようなことを想定しているのか分からない。

住民からの要望が、行政に届きづらくなるように！

課題解決のために

役割を明確化し、それに合わせた協力体制が必要

- ・区長、自治会長、町内会長で業務についての会合を持ち、共通認識を持つ。
- ・地域づくり組織の重要性が増すので、機能強化が必要。交付金を増額してほしい。
- ・区長と地域づくり組織との関係を整理した上で協力体制を作ることが必要。
- ・地域づくり組織の中に全ての自治会長を入れるといいのではないか。
- ・区長からの要望は地域づくり組織で整理する。
- ・区長の下に自治会を置く形にした方が良いのではないか。
- ・区長＝自治会長という整理がいいのではないか。それができない行政区だけ特例にして区別してはどうか。兼務の方が効率的。